



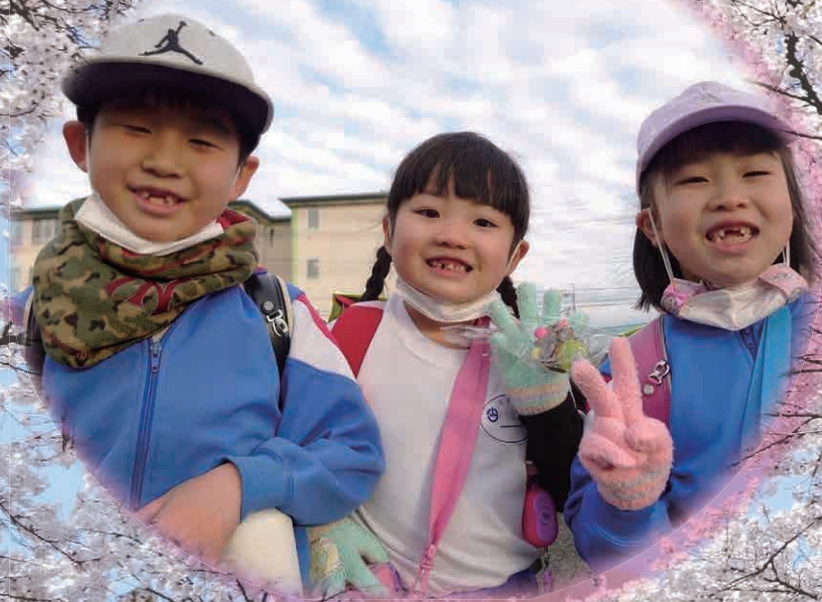
東吾妻町

議会だより

第69号

みんなの議会

2023.5.1



子どもたちの笑顔のために

子育て支援充実！

令和5年度一般会計当初予算可決

.....2ページ

高校生が議会に聞きたいこと

.....14ページ

今号の内容

- 3月定例会で決まったこと 4
- 3議員が町政を問う **一般質問** 10
- 各委員会からの活動報告 18
- まちの声 20

祝
そのえんしき

子どもたちの笑顔のために 子育て支援充実！
令和5年度一般会計当初予算可決



【県内トップクラスの充実した子育て支援】

入学祝金や給食費無料化早期導入などの町独自政策や、高校生医療費無料など国・県の基準よりも手厚い支援を行っています。所得制限を設けない入学準備金貸付制度は全国的にも珍しい画期的な試みです。

いわしまこども園卒園式

0歳児～

出産祝金（第1子－5万円、第2子－10万円、第3子以降－20万円）
 出産・子育て応援給付金（妊娠届出時）5万円（出生後）5万円
 出産育児一時金（分娩時）50万円（国民健康保険）＊各健康保険制度による
 福祉医療 0～18歳まで医療費無料
 新生児聴覚検査補助 3千円補助
 児童手当0～3歳未満1.5万円、3～15歳1万円／月（所得制限要件有）

1歳児～
5歳児

子育て支援金（1歳および2歳になる乳幼児1人につき3万円支給）
 乳幼児健診・歯科健診・フッ素塗布無料
 チャイルドシート等購入費補助金 購入費の2分の1（上限額2万円）を補助
 こども園給食費無料化
 遠距離幼児保育所通所費補助金
 こども園遠距離通学費補助金

第64号議会だより特集で紹介した中学生の要望の中で多かった「屋外バスケットゴールポスト設置」の意見が、一般会計当初予算へ盛り込まれました。

小学生・
中学生

入学祝金（小学生3万円・中学生8万円）
 小中学生遠距離通学費補助金
 中学生自転車通学ヘルメット補助金
 給食費無料化・小学生フッ素塗布 年1回受診券（2千円）
 英検・漢検受検料補助金 年間各1回の受検料全額補助
 特別支援学校就学援助補助金 月額3千円



高校生・
大学生等

入学準備金貸付制度（所得制限なし）
上限高校20万円・大学等50万円
 通学定期代補助金 電車・バス利用者で月額5千円以上の支出に対し千円を補助
 育英資金貸付 高校生月額15,000円大学生等月額5万円まで無利子貸付（半年毎）
 （東吾妻町生涯支援年表より一部抜粋）

手厚い子育て支援 反面、進む少子化

手厚い子育て支援の一方、年々子ども数は減少し、令和4年度の出生数は31名でした。

この現状を打破するヒントは、議会報告会や中学生・高校生の意見など、町民の皆さまの声にあります。「子育て支援のPR不足」「空き家バンクの充実など」皆さまからいただいた意見を各常任委員会で総括し、予算案への質疑を行いました。

議員全員協議会での 当初予算への質疑

さらなる子育て支援は

Q 第3子以降保育料無料化はありがたいが、近隣町村では第1子から無料のところもある。当町での乳幼児数減少の要因のひとつではないか。
A 予算的なものも含め検討していきたい。

Q 児童保育事業の工事請負費の中は。
A 児童保育を小学校の中に設置する方針により、原町小学校の中に児童保育を移転するもの。1階のパソコン教室を予定している。

Q 移住相談業務委託料の内容は。もっと力を入れて欲しいが。
A 2名の方に移住コーディネーター業務や移住相談の補助を委託している。お試し物件の管理や案内をお願いしている。

移住定住対策の充実を

Q 新規事業で町の活性化に期待
Q 大戸の仙人窟駐車場整備で地域の活性化を。
A 仙人窟入口の道路の向かい側に駐車場を設置し、観光客を誘致したい。
Q 定住促進事業官民連携プロジェクトの中は。
A (株)ガスパと包括連携協定を締結。観光・健

康増進・防災などの連携事業が可能となる。
Q 関係人口創出事業とは。
A 町外に住んでいる方で、東吾妻町に関心のある人をふるさとサポーターズに登録するほか、著名な方にふるさとアンバサダーとして町の広告塔になってもらう事業。

高齢者への支援は

Q 交通対策費、自動車誤発進装置設置費助成の内容は。
A 助成金額の上限が5万円、5件分を予定。不足分は補正で対応したい。
Q 带状疱疹ワクチンの予防接種助成の中は。
A 2分の1助成で、上限5000円、50歳以上を対象としている。
Q 中央公民館耐震工事はバリアフリーを考えているか。
A 今回はトイレの改修と耐震工事のみで、今後考えていきたい。

農業分野への価格高騰 支援を

Q 価格高騰を受け、燃料への支援があるが、飼料や肥料への支援がない。隣町ではそれらの支援に1500万円予算化されているが。
A 情報収集し、検討していきたい。

財政健全化のために

Q 町有施設の電気料削減のための方策は。
A 前年度比1.5倍で予算計上。①節電②不要な施設の電気設備をカット③太陽光による自家発電の検討等により削減したい。
Q アイディアでふるさと納税の税込アップを。
A 体験型の返礼品も含め知恵を出し合っていきたい。

定例会中の議員全員協議会の主な協議内容

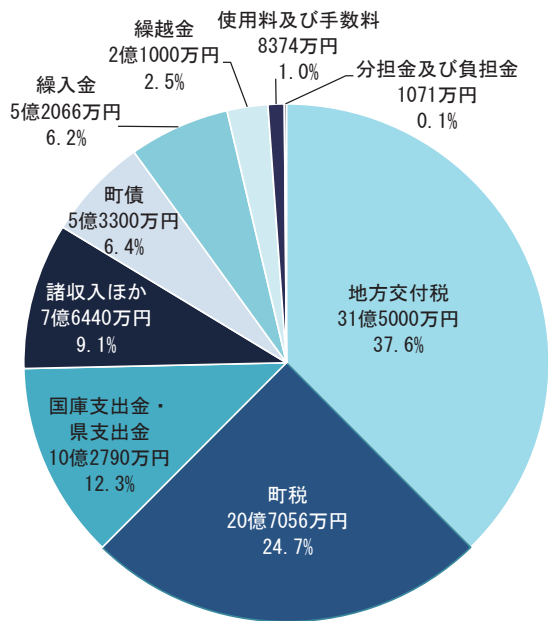
- ・吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- ・東吾妻町災害廃棄物処理計画（案）について
- ・役場旧庁舎跡地の利活用の計画について
- ・経営戦略計画について（水道事業）

▼町債残高一覧表

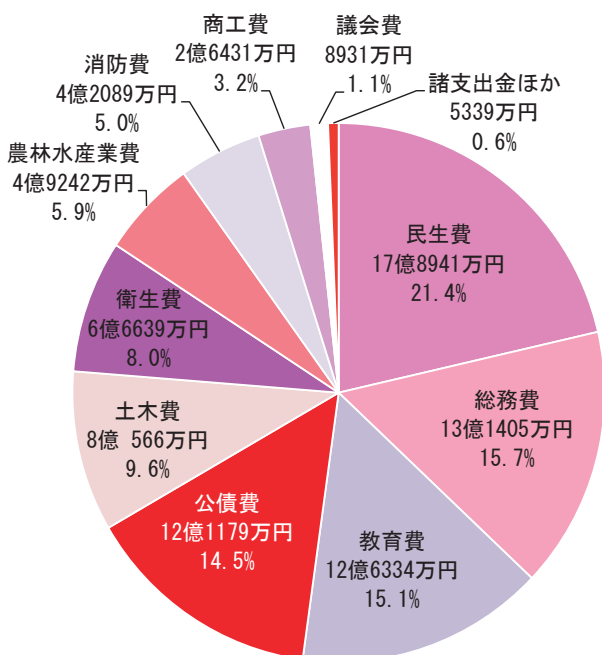
区分	令和4年度末現在高見込額	令和5年度末現在高見込額
一般会計	108億 154万円	101億7004万円
国保特別会計(施設勘定)	112万円	0万円
下水道事業特別会計	22億3314万円	21億1057万円
簡易水道特別会計	2億 112万円	2億3356万円
水道事業会計	3億8399万円	3億2423万円
合計	136億2091万円	128億3840万円

次のページは、一般会計総額・歳入歳出グラフ

令和5年度一般会計当初予算 歳入歳出合計 83億7100万円



歳入は、固定資産税の増により町税が前年度比9.4%の増。地方交付税は前年度比1.6%の増。町債は前年度比31.7%の減となっています。



歳出は、衛生費が前年度比24.0%増、農林水産業費が28.3%の増。前年度自立分散型エネルギー導入事業が終了したため、教育費は12.9%の減です。

令和5年第1回定例会が、3月6日から17日までの12日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。

会期中、町長から提案された令和5年度の当初予算や条例の改正、令和4年度の補正予算などの議案が審議されました(議案などの審議結果については、13ページの表をご覧ください)。

なお、町政一般質問には3人の議員が登壇して町政をただしました(10から12ページをご覧ください)。

予算編成方針

令和5年度一般会計当初予算は前年度と比較して1.1%の増額となりました。

限られた財源の中で既存事業の見直しを行い、新規事業についても緊急性や必要性、費用対効果を精査し、経費節減と合理化を図った予算編成を行いました。

主な歳出は、旧坂上小学校体育館解体工事や原町学童保育所移転工事、原町小学校体育館補修工事などを計上するほか、衛生費では吾妻郡の一般廃棄物処理施設の整備事業に備え5000万円の基金積立金を計上、引っ越しワンストップ支援サービス事業や带状疱疹予防接種費用助成費、忍びの町ひがしががつま推進事業など、多様な町民ニーズに対応できるよう全体的なバランスに配慮した予算編成を行いました。



全体的なバランスに配慮した令和5年度注目新規事業

仙人窟駐車場整備事業

900万円

旧坂上小学校体育館解体工事

6600万円



大戸地区仙人窟



旧坂上小学校体育館

忍びの町ひがしあがつま推進事業・忍者プロジェクト事業委託料

3400万円

官民連携プロジェクト事業 164万円
 ふるさとサポーターズ事業 56万円
 自動車誤発進防止装置設置費補助金（交通対策費） 25万円
 引っ越しワンストップ支援サービス事業（住民基本台帳） 291万円
 コンベンションホール改修事業 800万円
 出産・子育て応援給付金 420万円
 学童保育所改修工事 2728万円
 带状疱疹予防接種費用助成費 15万円
 若年がん患者在宅療養支援事業助成金 35万円



役場庁舎に映し出されたプロジェクトマッピング

消防ポンプ自動車購入事業 3500万円
 小学校施設補修工事 5342万円
 中央公民館耐震改修設計業務委託料 1000万円

住宅用再生可能エネルギーシステム設置費補助金 500万円
 吾妻郡一般廃棄物処理施設整備基金積立金 5000万円

坂上公民館照明LED化事業 448万円
 社会体育施設整備事業 970万円

農地耕作条件改善事業（烏帽子・霜田地区） 1億422万円

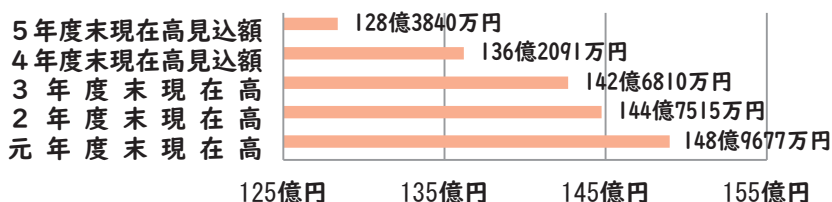
次のページは、激論！ 本会議質疑

▼令和5年度会計別予算額（歳入・歳出）

会計名	令和5年度	令和4年度	対前年比	
一般会計	83億7100万円	82億7700万円	1.1%	
国民健康保険特別会計（事業勘定）	16億8287万円	16億797万円	4.7%	
〃（施設勘定）	6919万円	7091万円	▲2.4%	
後期高齢者医療特別会計	2億3652万円	2億2938万円	3.1%	
介護保険特別会計	18億8047万円	18億7743万円	0.2%	
地域開発事業特別会計	776万円	4161万円	▲81.3%	
下水道事業特別会計	5億3962万円	5億5780万円	▲3.3%	
簡易水道特別会計	1億5669万円	1億3664万円	14.7%	
公営企業会計名	収 入		支 出	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
水道事業会計	収益的 2億1670万円	2億349万円	2億1631万円	2億335万円
	資本的 1億3710万円	1億4240万円	2億2970万円	2億3737万円

地域開発事業特別会計は、発電事業と情報通信事業を一般会計へ組み替えたため、前年度比81.3%の減となりました。一般会計は、前年度比1.1%9400万円の増です。

▼町債残高の推移



POINT



定例会本会議で
の当初予算への質疑

医師確保への強いメッセージを

議員 原町赤十字病院運営費助成金4000万円とあるが、これまでの予算は運営費補助・医師確保・機器整備合わせて約4480万円だった。500万円ほど減額し一括りにした理由は。



災害拠点病院・原町日赤

保健福祉課長 運営費助成は、医師確保・機器整備を含めた金額で一本化した予算となっております。経営状況を見ながら特別交付税の上限を根拠に計上した。

企画課長 原町日赤運営費補助金は救急告示病院で国から特別交付税が算定される。これまで東吾妻町・中之条町・高山村で特別交付税の対象になる運営費助成金で人口割り等で案分していた。内約1900万円を東吾妻町が出していた。昨年度、病院の経営状況の改善により、中之条・高山が運営費助成金を出さない決定をし、当町の1900万円の8割しか交付金がこなかった。今年度は当町で特別交付税の算定額3900万円の8割を交付される仕組みになっている。来年度も中之条・高山が継続して助成金を出す話がないので、4000万円運営費の補助を出すという形になっている。予算上は

一本化して、県に報告する必要がある。

議員 現在運営状況が向上しているのは、コロナ病床設置により国県からの補助があるからで、医療収益の部分が向上するのが難しいのは変わらない。補助金が出たからいいという考えでいいのか。他町村も巻き込んで地域のために医師確保を頼んでいくのか。

企画課長 それぞれの町村が、毎年日赤の決算書を見て判断している。令和3年度決算では黒字が出ており、その前までは赤字だったが、令和2年度を境にV字回復している。

議員 黒字だからという考えだが、医師を確保しなければ地域医療の質が落ちてしまう。医師確保の名目で助成し、医師確保のための努力を続けてもらうためには、1500万円の補助が必要だ。町長は他町村に対してもしっかりと調整を続けていたいただきたい。

町長 原町赤十字病院は、吾妻郡の中核病院災害拠点病院である。そのため3町村で協力してきた。今回黒字化し中之条・高山は支援しない判断だが、我が町は誠意をもって支援を行っていく。今後赤字となれば2町村も当然支援をしていくものと考ええる。また、東吾妻町がしっかりと助言をし、健康と命のために必要な病院の存続を補助しないといけないと考えている。

黒字経営でも地域医療継続のための補助か

議員 原町日赤の経営が黒字化されれば補助金が削減されるものと思っていたが、他町村が手を引いた現状の中で、当面の間地域医療を支えるための予算として理解すればいいか。

保健福祉課長 今後の経営状況もあるが、当面はこういった形で進めていきたい。

賛成討論

青柳議員 最大の効果・バランスを重視した予算編成方針で、昨年の箱島湧水のトイレに続き坂上地区の仙人窟駐車場整備が入り地域の資源観光を広げた。農村整備で烏帽子地区・霜田地区に農地耕作条件改善予算が入ったことは関係者の安心につながる。町民の安心と健康のため、自動車誤発進装置補助と帯状疱疹ワクチン接種補助は町民の喜びの声が聞けた事業だ。県のニューツーリズム創出支援事業を活用して町内周遊と旅の目的地となるための事業は、ブランド力を上げる期待が持てる。高齢者の社会保障の予算が増えているが、無駄を排し安心の町を維持してもらいたい。人口減少は一番の課題だが、大胆に町の魅力を出す施策を重点化したことやバランスをとった本予算に賛成する。

条例関係

■東吾妻町コンベンションホール設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

使用を許可できない条件に「暴力行為又は不法行為を行うおそれがある」と認められるとき」を追加するほか、語句の整理を行う条例改正です。

質疑

議員 追加された文言では、実際にどうやって見極め、どのような基準でやるのか不明確である。県の条例等では、明確に暴力団対策法という上位法をきちんとあててそれに該当する団体、構成員が加わっている団体なども含めて規制の対象としている。中央公民館の貸し借りの中で、裁判になり敗訴したこともあるので、こういった使用規定

は明確に定めておかないと、携わった職員が責任を問われかねない。規則なら規則でいいので、どう明確に定めるのか。

社会教育課長 暴力行為は人だけでなく物にも該当するということで考えてこの文面としている。

具体的な文言を入れると規制がしやすくなることは事務的にあるが、対象となる部分が狭くなる恐れがあるので幅広い意味で考えている。実際には申請書の内容を吟味していく。

議員 携わった担当職員や町民が不利益を被らないように規則を定めていただくたいが。

社会教育課長 公の施設は住民の福祉を増進することを目的とするため使用する者が正当な理由がない限り拒むことができない。使用にあたっても不当な差別をしてはならないことが自治法に定められている。規則の改正は内部で調整し、例規担当とも相談して検討する。



コンベンションホールでの催し

町長 議員の温かい気配りのある提言で、規則をきちっと定めて町民に利用してもらいたい。

議員 暴力行為をどういうふうに見極めていくのか聞きたい。申請時に、信用をして貸すのが前提で、後で問題が起これないよう、に文言を載せていく必要がある。後々問題になったときに、町がこれだけ幅広い意味でやっていると言っても解決が難しい文言だと思われる。幅広いという意味で対応できると考えたのはどういう

意味か。

社会教育課長 上位法である地方自治法の公の施設の規定に、「不当な差別的取扱いをしてはならない」とあり、こちらが優先になる。申請が来た際に面談し、内容をよく吟味して処理していく。

暴力法も上位法になるので何かあった時にはこちらが優先と考える。

議員 上位法に則った形で条例を定めるのが適当ではないのか。恐れがあると認められた時、どこで見極めるのかと疑問に思う。担当職員が困らな

い規則を作るのが基本ではないか。

社会教育課長 必要があれば今後内容を検討して問題のないように、条例改正も含め検討していきたい。

議員 申込書に一文、暴力団等でないこと、チェックをいれる項目を増やすことで、トラブルを回避するなど解決できるのではないか。

社会教育課長 申込書の様式が規則で定められているので、規則改正をするか検討していきたい。

議員 どの申請書もそういった文言があるので、虚偽をした段階でその後訴えることができる。転ばぬ先の杖としての規則を作っておく。細かいことを条例に入れても難しいので、申込書に一文入れていることで解決できるのではないか。

副町長 各議員の意見を十分踏まえ、町民や職員に不利益がないよう規則の作成をしていきたい。

次のページは、その他決まったこと

出産育児一時金 50万円に増額

■東吾妻町国民健康保険 条例の一部を改正する条 例

国民健康保険に加入している方が出産した場合の出産育児一時金の総支払額が50万円になるよう条例を改正しました。

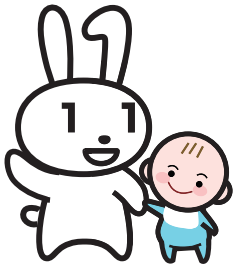


保育所・こども園な どの入所手続き等を オンライン化

■東吾妻町特定教育・保 育施設及び特定地域型保 育事業の運営に関する基 準を定める条例の一部を 改正する条例他2件

通常書類での申請が必要な保育所やこども園の入所手続きなどを、マイナポータル（*）を利用することでインターネットでの手続きが可能になるよう条例を改正しました。令和6年度入所手続きよりオンライン申請が可能になるよう準備を進めていきます。

*マイナポータルとは、行政のサービスや手続きをパソコンやスマートフォンで簡単に検索でき、手続きによってはそのまま申請できるサイトです。マイナンバーカードとパスワードを用意し、パソコン（ICカードリーダー）やスマートフォンで登録することで利用できます。



マイナちゃん

■第3次東吾妻町職員定 員適正化計画

行政サービスを安定的に提供できる体制を確保するため、中長期的な観点から新規採用者数をはじめとする定員管理のあり方についての具体的指針とすべく策定したものです。

計画期間は令和5年から令和9年の5年間で、定年引き上げに伴う定員管理のあり方にも考慮し、令和9年度の目標数値を200人に設定しました。



移転して5年目になる役場
庁舎

■町道路線の廃止と認定 質疑

質疑

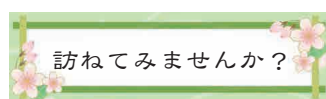
議員 郷原古谷地区の町道5246号線が廃止されるが、この道は潜龍院に続く道路で観光客も多く通行する。町道から農道扱いになっても、観光客や登山客が安全に通行できるように町としても約束してもらいたい。

町長 潜龍院に続くこの道は、観光客や地元の方たちにとっても大事な道であるので、町道から農道になったとしてもしっかりと対応していきたい。

■東吾妻町第2次総合計 画後期基本計画の策定

町政運営を総合的かつ計画的に進めるための指針を示す東吾妻町第2次総合計画の後期基本計画の策定が可決されました。

平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間とし、前期基本計画の5年間で令和4年度で満了することから、後期基本計画を策定したものです。人口減少と上信自動



潜龍院とは、岩櫃山の麓郷原古谷地区にあり、真田昌幸が武田勝頼を招くために建てられた屋敷跡だと伝わります。戦国時代に思いをはせ、訪ねてみませんか？



車道開通に的確に対応し、将来を見すえた町づくりとするため今後5年間に重点的に取り組む施策を設定しました。

常任委員会の定数を6名に

東吾妻町議会委員会条例の一部を改正する条例

町議会の議員定数が14名から12名に削減されたことに伴い、現在各7名の総務建設常任委員会と文教厚生常任委員会の定数を各6名に変更する議員発議が可決されました。

工事請負契約の締結

コンベンションホール大規模改修工事。

● 契約金額：6435万円

● 契約相手：南波建設株式会社 代表取締役

南波 将彦（原町）

令和4年度
一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億124万3000円を減額し、歳入歳出予算の総額を

それぞれ87億6468万8000円としました。事業確定見込みによる減額が主な理由です。

主な追加予算

定住促進事業住宅取得奨励費補助金 500万円

保育所運営事業（備品購入費） 131万円
町単小規模土地改良事業 180万円
民有林造林保育事業補助金 100万円
治山事業 276万円

補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計	△2億124万円	87億6468万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	△304万円	17億2988万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	△419万円	6734万円
後期高齢者医療特別会計	△498万円	2億2440万円
介護保険特別会計	△5680万円	19億2741万円
下水道事業特別会計	△955万円	5億6418万円
簡易水道特別会計	△2436万円	1億2155万円

令和5年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
第2次総合計画後期基本計画策定事業	385万円
交通結節点基本構想策定事業	513万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	1461万円
太陽光発電システム設置費補助金事業	186万円
農地耕作条件改善事業	520万円
東吾妻町住宅新築改修等補助金	693万円
中小事業者感染症対策及びSDGs推進補助金	500万円
忍びの町ひがしがつま推進事業	65万円
観光管理費	1589万円
法定外公共物再整備事業	569万円
一般廃棄物処理施設アクセス道路整備事業	940万円
上信自動車道関連事業	7321万円
防火水槽修繕工事	200万円
ケーブルテレビ設備維持管理事業	239万円

次のページは、議員が町政を問う一般質問

今回の陳情

陳情	継続審査	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	コドソラ 代表 与那城千恵美	総務建設常任委員会
陳情	継続審査	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	江田保則	総務建設常任委員会

3 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（6月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q ゴミの保管庫や網等の設置、普及を促進する政策を

A ボックス的設備の設置、設備費助成制度を創設する予定はない

Q ゴミの集積所の環境改善について伺う。

町内の集積所を見ると地面に直接野積みされているところや保管庫などが設置されているところなどさまざま、野生動物などに荒らされ、生ゴミなどが散乱している状況も見られる。

また何度となく景観が損なわれたり、悪臭で不快な思いをされたりすることがあると思う。私の知る限り、散乱を防ぐなどの対応をしているところはそれぞれ地域住民が自発的に費用も手間もかけ取り組んでいるものと認識している。

そこで、収集場所の環境美化を重要な問題と

捉えてもらい、ゴミの保管庫や網などの設置の検討を願う。なお、予算の問題等もある。補助金制度を拡充し、普及を推進する施策の導入も併せてできないか伺う。

現在、町内には一般

A ゴミ収集場所が74

3箇所、資源物収集場所が268箇所ある。収集場所の環境保全

策については、地域において独自のボックス的設備などを設置したり、定期的な清掃を行ったりしている。また、町はごみ散乱防止ネットの配布により、集積ごみの散乱防止を支援している。

ボックス的設備がないことで鳥獣のいたずらや強風によるゴミの散乱の問題が生じ、それらの片

付けに負担を負うことになる場面があることを認識しているものの、反面ボックス的設備を新たに設置することで恒久的な設備の設置に伴い長期的な占有による土地の制約が発生するなどの課題がある。また、ゴミ袋が見えにくくなることによつて、内容物のマナー悪化の懸念が考えられる。

それらのことを踏まえて総合的に判断すると、収集場所へのボックス的設備の設置または設置費助成制度を創設する予定はない。ゴミ収集場所の運用管理は、地域の理解協力のもとに成り立っており、引き続き現在の仕組みを維持していく考えである。



地域で設置しているゴミの保管庫



もきけんじ
茂木健司議員

Q 住民主体の町づくりを

A 特技や生き様を取材して紹介をしていく

Q 町では得意技を持つている人を見出し、〇〇忍者と称して紹介してきたが、忍者探しは継続するのか。また、住民の知恵を借り、住民主体で自在に活躍できるように押し出す町の姿勢を伺う。

A 住民が主人公になれる町づくりを目指し「ロックな人」をポータルサイトや広報で紹介してきた。町内にはまだまだたくさんの方が潜んでいらっしゃるのだから、これからも継続して紹介し、「おらがまちづくりプロジェクト実行委員会」でワークショップなど推進していただく。



あおやぎ
青柳はるみ議員

Q 文化で立つ町に

A 用途廃止した公共施設の利活用に文化活動の拠点など視野に入れていく

Q 大勢の人を一度に集められない社会様式となった。住民のあらゆる面の得意技を紹介する事やワークショップを常設できる場所が欲しい。山あいに住む高齢者の知恵はすごい。ロープ結びはある年齢以上の方はできるが都会の人や子ども達には忍術のようだという。布を割き折りにし洋服を仕立て上げる方、古いセー

ターをほどきかわいらしい人形を作る方。お饅頭や1度にたくさんとれる野菜を漬物や干しておいしい総菜にする方など忍者並みの技を持つている高齢者がたくさんいる。生活に根付いた技はここにしかない忍術だ。これらを学ぶ「あがつま塾」「忍術ス



ロープ結びの技を学ぶ学生

クール」など町独自のネーミングで年齢関係なく参加できる卒業のない町民大学が欲しい。

A 官民連携の「おらがまちづくりプロジェクト実行委員会」で考案した「えびばで忍者計画」を推進して住民の誰もが主人公になれる町づくりを目指している。当町は地盤も強固で災害も少なく風景もよいと素晴らしい芸術家も集まってきている。住民の作品展示などの可能性も考え、町づくりの機運を図っていく。

Q 原町駅南の活用で食や町独特の文化の発信を。

A 駅南まちづくり計画を策定中で、まちづくりの機運醸成を図ることも重要と考えている。

Q 10年後を見つめた町づくりを

A 総合計画を基本に、人に優しい町を作っていく



ねづみつぎ 根津光儀 議員

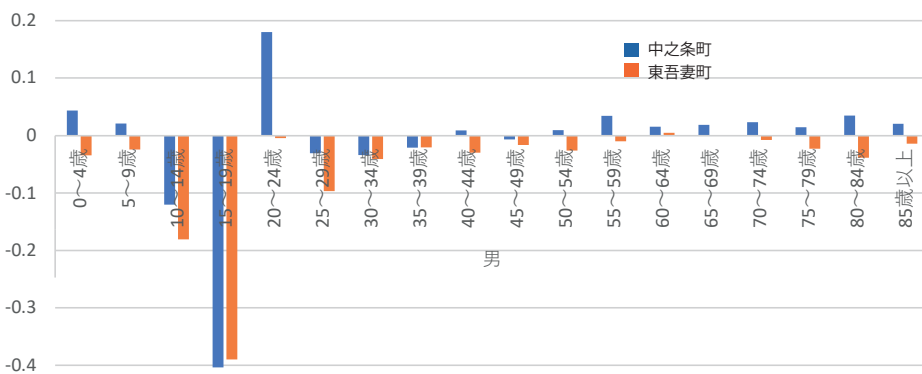
Q 「東吾妻町第2次総合計画後期基本計画」が可決された。令和9年までを見ずえたこの計画は、重点施策と関連分野のつながりがわかりやすく書かれ評価できる。町政を進めるに当たって、弱者の視点で取り組んでほしい。

年度の出生は26人で、人口の減少は深刻である。人口グラフを作成し転入転出について調べてみると、各年齢層とも、わが町は転出超過であることがわかる。中等教育終了後進学や就職のためこの町を離れた人が、戻ってくることは少ない。0歳から10歳の子どもの転出超過については、保護者も転出していると考えられる。中之条町や高山村・川場村は子どもの転入が多い。若い世代が実家から離れようとした時、わが町から他町村へ転出超過となっている。どのような対策が考えられるか。

A ささまざまな境遇や生活環境、経済的な問題を抱えている町民に寄り添った、人に優しい町政を実現するため、後期基本計画を着実に推進していく。

Q 後期基本計画によれば令和12年のわが町の推計人口は一人を切る。住民基本台帳によれば2月末時点で、令和4

年齢階層別純移動率比較（中之条町と東吾妻町の男性のケース）



資料作成：根津光儀（中之条町は転入超過の年齢層があるが当町はほぼない）

A 子ども子育ての対策として、不妊治療・出産宿泊補助・医療費無料・給食費無料などを実施し、県内トップクラスの支援策を継続して取り組んでいきたい。

Q 離婚して心傷ついた人が、実家に身を寄せるケースがある。安定した職場と新しい人間関係を求めている。優しく迎え入れるためにはどのような施策があるか。

A 心の安定のために、ゲートキーパー育成事業を進めている。医療・福祉の充実や社会基盤の整備を着実に進めることが重要と考える。

Q 移住政策の対象者として、都会から実家に戻り再出発しようとしている人に目を向け、わが町に住み続けてもらうための住宅政策や雇用政策を作っていくべきだ。

A 住宅リフォーム補助として最大30万円の制度がある。わが町の良いところを知ってもらい、永く住み続けてもらえる政策を実行していく。

令和4年12月に予定されていた高校生議会はコロナまん延防止のため中止となりましたが、高校生が東吾妻町と町議会について考えるせつかくの機会、参加を希望してくれた吾妻中央高校の生徒さんに話を聞かせてもらいました。

小池陸斗さん(矢倉)
 鈴木華音さん(長野原町)
 片野凌多さん(三島)
 割田菜々華さん(高山村)
 磯部慎太郎さん(草津町)
 篠原ななみさん(箱島)
 *篠原さんは残念ながら欠席でした。



高校生の感じる不便は、大人たちの将来の不自由かもしれない。 ~高校生が町議会に聞きたいこと~

吾妻線を利用しやすく

高校生が町議会に聞きたいことや提案したいこと。

その半分を占めたのが、電車・バス・タクシーなどを利用しやすくし、交通弱者でも住みよい町にして欲しいという意見です。

【ななみ】下校時にちょうどいい電車がなく、一時間以上待つこともあり。高校生にとって大切な移動手段である吾妻線の見直しを希望します。

【陸斗】いつも私たちが利用している電車の本数を町や議会の力で増やすことはできるのでしょいか。吾妻線は、私たちの通学手段であることはもちろん、地域住民の重要な移動手段でもあり、さらに観光客を呼び込む上でも欠かせない交通手段です。ぜひ町をあげて吾妻線活性化に尽力していただきたいです。

吾妻線の時刻表を決めるのはJR東日本で、町や議会が直接決定に関わることはできません。

また、現在吾妻線は赤字路線であり、存続を危ぶむ声もありますので、増発の要望も難しいかもしれません。吾妻線の利用者を増やし活性化することが重要ですが、人口減少・少子化・

コロナ禍の観光客の減少などで厳しい状況です。

町としては、吾妻線を継続させるために、乗客が利用しやすいよう、各駅のトイレの設置・管理や駐車場の無料化、群馬原町駅舎に観光協会の事務所を移設するなどしています。また、電車やバスで遠距離通学をする高校生の保護者に「高校生等通学定期補助金」を支給しています。

11月に開催された中学生議会でも、吾妻線の活性化の提言がありました。

高校生として、吾妻線の活性化のアイデアがありますか。

【陸斗】全校生徒にアンケートをとったところ「電車の本数を増やす」「Suicaの設置」「観光地を増やす」「イベントを開催する」などの意見がありました。

【凌多】ラッピング電車を走らせる意見もあり、写真を撮りにくる乗客が増えると思います。

ICカード対応改札機設置の要望は多くありますが、莫大なお金がかかり難しいようです。

令和5年度には、東吾妻町と中之条町を会場に世界忍者学会が開かれます。観光やイベントにも力を入れて吾妻線の利用者を増やしていければいいですね。



盛大に開催された東吾妻ふるさと祭り（広報ひがしあがつま164号より）

交通弱者にも住みよい町にするために

【華音】高齢者の交通事故を減らすために、バスやタクシー・電車の本数を増やして欲しいです。

現在は、バス業者に対し赤字分の補助金を交付して運営していますが、バスの利用者が少なく、乗客の少ないバスが走っている姿を見るのも珍しくありません。より利便性と効率化を図るた

め、路線バスとスクールバスの連携などを地域公共交通活性化協議会で検討しています。

バスを利用しやすくするためにどんな方法が考えられますか。

【華音】全校アンケートでは、「本数を増やす」が51%で、実際に使う時に、電車とバスの乗り継ぎにかなり待つこともあるので、連携も工夫してもらえると利用しやすいです。次に「運賃の引き下げ」が26%で、「運行エリアの拡大」が14%でした。

【凌多】バスの運行状況がわからないと乗りづらいので、周知が大事だと思います。

運転免許を持っている人はつい忘れがちな視点ですが、年を取り免許を返納した将来の自分たちにも関わってくる重要な問題です。

ふるさと祭りの復活で町の活性化を

【凌多】コロナ禍で中止されたふるさと祭りの再開をしてほしいです。ふるさと祭りを地域活性化の原動力にしたらどうで

しょうか。

新型コロナウイルスの影響を一番大きく受けているのが祭りやイベントです。原町の祇園祭をはじめとした各地の伝統的なお祭りの多くも3年間中止が続いています。令和4年度は、スポーツフェスティバルやマロライド・忍び登山など飲食を伴わない屋外のスポーツイベントが開催されましたが、多くの町民が集う祭りの開催はありませんでした。

吾妻郡の医療の中核となる原町赤十字病院がある東吾妻町では、医療従事者の負担を減らすべくイベントを制限した経過はやむを得ないという考えもあります。一方で、子どもたちの思い出や地域との交流の場が減り残念という声も多くあります。

【凌多】ふるさと祭りは鼓笛や吹奏楽部での演奏などがいい思い出です。

【陸斗】中学生になっても友達と行きました。ビンゴ大会が懐かしい。

【凌多】子どもと地域のお年寄りの交流の場が減っていると思うので、ぜひ祭りの開催をお願いしたいです。

コロナ前のふるさと祭りでは、東吾妻町出身の俳優・町田啓太さんのトークショーやニコニコ町会

議が同時開催され、吾妻線を利用した多くの来場者が下車し、会場だったコンベンションホールには朝から行列もできました。

地域の活性化のために重要なふるさと祭りの開催を、アフターコロナでのイベントのあり方を模索しながら検討していく必要があります。

他に地域活性化のアイデアはありますか。

【凌多】アンケートでは「テレビで紹介してPRする」「原町駅前のシャッター街の活性化」「移住対策・空き家バンク・住みやすさのアピールをする」などの意見がありました。

【慎太郎】中之条町では町を舞台にしたドラマをYouTubeで公開しています。東吾妻町もYouTubeを使ってドラマの配信をしたらいいと思います。

【菜々華】高山村では地域おこし協力隊がたくさん活躍しています。東吾妻町ではどうですか。

高山村は9名の隊員の方がいて、活躍の様子をよく耳にします。東吾妻町でも現在2名の隊員が、アガタンや鳥獣害対策の仕事で頑張っていますが、郡内でも少ない方ですし、活動の周知ももっとできたらいいと感じました。

さまざまなアイデアを聞き、地域活性化には若い人の力が必要と感じました。令和5年度はイベントも再開される見通しですので、高校生も積極的に参加して欲しいと思います。

原町地区の無電柱化のメリットは？

【慎太郎】観光産業が盛んな草津町では景観保護のために無電柱化が行われています。原町周辺はあまり観光に力を入れていないのかなと思いますが、東吾妻町が実施するメリットは何ですか？



無電柱化の進んだ原町の市街地

電柱がなくなることで、もちろん景観がよくなるメリットはあります。日本ロマンチック街道沿いで、城の形の役場庁舎も見えるので、景観に配慮した町づくりも重要です。

しかし、原町地区の国道沿いの一部で行われている無電柱化は、電線に集まるカラスやムクドリなどのふん害が大きな理由のひとつです。冬になると原町小学校や東吾妻中学校の通学路の歩道がふんで真っ白になり、衛生的にも問題になっていました。無電柱化することで、国道沿いの歩道にふんが落ちることは少なくなりましたが、鳥たちの居場所が変わっただけで新たに汚れる道路も出てきています。鳥のふん害は、高崎駅周辺など都市部で問題になっているケースが多く、簡単な解決策がある訳ではありません。また、環境問題を考えれば駆除すればいいということでもありません。

吾妻郡内では、他にどんな野生動物の問題を耳にしますか。

【慎太郎】アンケートでは、「農作物の被害」が60%、「人家に出没」が30%、「ふん害」は7.5%でした。

【凌多】前は家の近くで猿やイノシシが出たけど最近は見なくなってきた気がします。

数年前から地域おこし協力隊が、猿に発信器をつけて行動調査を行っています。出没しそうな場所を特定し、追い払うことで猿の出没が少なくなった地域もあります。現在は鹿の出没が多くなっていると言われます。

【慎太郎】吾妻線を利用していると、鹿などの線路への侵入で、電車が遅延することがかなりの頻度であり大変です。

自然豊かな町は野生動物との共存が不可欠で、今後も対策をする必要があると思います。

税金の使い道は？

【菜々華】税金の使い道を町民は知る権利があると思いますが、東吾妻町ではどのような方法で揭示していますか。

町広報では年3回予算決算の特集ページを掲載しています。議会でも、3月定例会の後に予算、9月定例会の後に決算を掲載した議会だよりを発行しています。

しかし、特に若い人には、広報や議会だよりは読んでもらえていないようです。ここ2年は学生向けの特集ページを作り、社会の授業で地方自治を学ぶ中学校3年生に議会だよりを贈り、授業

で役立ててもらおうなど、周知を図っています。

若い方に町や議会の情報を知ってもらうためには、どのような方法が有効だと思いますか。

【菜々華】全校アンケートでは、「授業や講演会などを聞く」「アニメ、動画などをSNSを使う」「ポスターやチラシで広告する」などの意見が出ました。そこで、授業や講演会をして学んだことを動画にして配信する方法がいいのではないかと思います。

アンケートでは「税金のない町を体験してみる」という意見があったそうです。税金のない町をシミュレーションするイベントはありますか。

「学校の先生の給料は誰が払うのか」「高校生の医療費無料化は」「道路は」「公園は」……今とは少し違う世界が想像できそうです。

町のお金の使い道を知ってもらうためには、高校生議会の開催だけでなく、議員が高校に出向いて授業に参加し、高校生と町づくりのことを一緒に考えることも有効かもしれません。

今回の企画に対し全校アンケートを取り準備万端でインタビューに臨んでくれた生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました。

笑顔の写真

ありがとうございました！

表紙～2ページの春らしい光輝くような笑顔の写真を、ありがとうございました。お名前の掲載は省略させていただきます。

引き続き「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集します。

町内で撮影された日常のスナップ写真も大歓迎です。

なお、人物が特定される写真は、その方の了解を得てから応募してください。

詳しくは、[東吾妻町議会ホームページ](#)をご覧ください。 →

次回は、6月27日×切
爽やかな写真をお待ちしています！



岩井親水公園

請願・陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。
◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、署名（または記名押印）

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）、あて先（東吾妻町議会議長）

・提出先：議会事務局（議長宛）

・その他：邦文で記載してください。

議員（政治家）の寄付行為禁止について自治会、各種団体の皆さまへお願い

議員が町内のお祭り、会合、スポーツ大会、親睦旅行などに対して、寄附やお祝い、飲食物の差し入れなどをすると、違法行為として罰せられます。また、それを受け取った関係者にも多大なご迷惑をおかけすることになります。

自治会や各種団体等での行事や催しを議員に通知する際には、参加に必要な経費等がある場合は、会費等を明示してご連絡ください。

5月13日より新たな議会体制となりますが、引き続き皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

今回の委員会では、付託議案をはじめとした審査・調査を行い、各委員からは活発な質疑・提案がありました。

新年度予算については、令和5年度の注目事業の一つとして、「忍者プロジェクト」やガスパ草津との官民連携事業・旧坂上小学校体育館と関連施設の解体工事などにつ



(株)ガスパとの包括連携協定締結式

いての説明がなされました。

また農業振興や長野原町とのレンタサイクル事業での連携などについて取り組んでいくことなどが示されました。

文教厚生常任委員会

閉会中の3月3日委員会を開き、議会報告会の成果について総括を行いました。所掌の範囲にこだわらず広く町の現状と将来について、町民の皆さんのお考えについて話し合いました。

小水道の整備や野鳥のふん公害対策、アガツタンのさらなる活用など町づくりの基本部分について町民の皆さんと力を合わせていくべきとの発言がありました。

中学生議会の成果については、私たちにない発想が多く寄せられており、水族館設置などは環境に

ついて思いを寄せる機会として実現が待たれます。ふたつの催しの中で参加者の多くが、この町は良いところがたくさんあるのでもっとPR活動をして欲しいと考えていることがわかりました。



淡水魚のミニ水族館を

行財政改革特別委員会

【行財政改革推進に関すること】

委員から高騰する電気料金への対応策について

質問があり、執行部から庁舎では使用制限を設定していることや、次年度予算では電気代に1.5倍の予算を見越していることなどが説明されました。

【地域公共交通問題に関すること】

委員からバスタ東吾妻(仮)の進捗状況について質問があり、執行部から他の同様施設や様々な情報を調査し、民間資金活用方式(PPF)なども含めて検討することが回答されました。



大きく姿を変える植栗交差点付近

各委員会からの活動報告

【町有施設の有効活用に関すること】

執行部から以下について説明がありました。

- ① 使用しなくなった借地は順次返却していくこと。
- ② 未利用の町有地に関してサウンディング調査を実施し、民間事業者5者から回答を得て、結果を町ホームページで公開中。今後は民間資金等活用方式(PFI)も含めた様々な方向性を検討していくこと。

③ 町内2箇所あるキャンプ場の運営について、指定管理も含めて検討すること。

これに対し委員から②について町有地の規模や立地条件を考慮した判断をとる意見が出されました。

議会運営委員会

議会では、予算決算特別委員会設置について平成23年から取り組み、当

時の先進地であった玉村町議会などを視察し、調査を始めましたが、しばらく中断していました。

その間に多くの町村が予算決算特別委員会を設置し継続していることから、議会運営委員会において、令和3年6月10日より再度調査研究することの了承を得ました。

その後、議論を重ねてきましたが令和5年1月17日の委員会までには結論に至りませんでした。

そこで、今定例会では、全員で予算案に対する議案調査をする形で、全員協議会の中で執行部に対し質疑を行いました。

町の具体的な政策を最終決定する議会の中で、予算決算の審議は最も重要な使命です。未来の町のために今まで研究してきたことを参考に、次の段階へ展開されていくことを望みます。

上信自動車道建設 対策調査特別委員会

令和5年3月定例会中に委員会を開催し、建設課長の出席を求め、上信道新巻インターに接続される県道の新巻交差点改良工事現場および町道植栗十二ヶ原線（上信道工事用道路）の新設区間の現地および県道植栗伊勢線改良工事、竜ヶ鼻切土部の現地調査を実施しました。

終了後に、総務・企画・上下水道・社会教育各課長の出席を求め、上信道

関連の電柱移設・上下水道移設工事・埋蔵文化財調査等の報告を受け、情報を共有しました。



新巻公民館での説明



工事の進む県道植栗伊勢線

「東吾妻町は好きですか？」

富澤 雄河さん (37歳 / 岩下)

コロナ禍の2年前に埼玉県から家族と東吾妻町に戻ることを決め、「地元でもある東吾妻町が好き」という想いから自分のキャリアで活かせることはないか、町の役に立てることは何なのか？をひたすら考えて起業を決意しました。

東吾妻町のルネサンスラボは、新しい発見、発信、コラボによって、町の価値を生み出していく元気創造業であり、町の町民による町民のためのプロダクトづくりや、発信をしていきたいと思っています。

「東吾妻町って何もないよね」という声をよく聞きますが、それは当たり前になりすぎて無価値化しているだけだと思います。その価値にまだ気付かないだけだと思います。

町の「これって価値あるじゃん！」を見つけだし、リプレースして価値を再び生み出して、関わる人がハッピーになるビジネスをしたいと思っています。だからルネサンスなのです。

議会は、友人と何度か傍聴させていただいて



作成した飲食店のチラシを持つ富澤さん(左)

おりますが、傍聴のたびに普段の生活の中では知り得ない町の動きを知ることができ、勉強になることばかりです。

まだまだ小僧なので、町の皆さんにご指導を日々いただいておりますが、町のさまざまな方と手を取り合って、町の発展のために精進していきたいと思っています。

「東吾妻町のルネサンスラボ」とは……。飲食業の会社を創業当時から30店舗まで作り上げる過程で、出店・店舗運営・業態開発・教育制度やブランディングに関してきた富澤さんが、道の駅あがつま峡勤務や農園のお手伝い、観光記事の執筆をしながら、Facebookで東吾妻町の魅力を紹介、配信をしています。
【<https://www.facebook.com/renaissanceslab>】

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は6月6日開会予定

6月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 本会議	7 常委	8 常委	9 特委	10
11	12 特委 全協	13	14 本会議	15 本会議	16	17

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

春らんまん、和やかな編集委員会の編集もいよいよ最終号となりました。メンバーは変わりますが、これからも発行は続きます。ご期待ください。(樹下啓示)

議会広報特別委員会
委員長 樹下 啓示
副委員長 井上日出来
委員 渡 一美
委員 高橋 弘
委員 茂木 健司
委員 高橋 徳樹
委員 青柳はるみ



編集後記